(別紙6)

[認知症对応型共同生活介護用]

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

【叶叫大心似女】			
事業所番号	0991400029		
法人名	社会福祉法人蓬愛会		
事業所名	城下庵		
所在地	栃木県さくら市喜連川36		0 000 000 11
		(電 話) 0 2 8	8 - 686 - 2941
評価機関名	社会福祉法人栃木県社会福	畐祉協議会	
所在地	栃木県宇都宮市若草1-1	10-6	
訪問調査日	平成20年3月25日	評価確定日	平成20年4月28日

【情報提供票より】 (平成20年3月11日事業所記入)

(1)組織概要

開設年月日	平成19年6月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	9 人	常勤7人(うち兼務	8 7人), 非常勤2人, 常勤換算7. 3人

(2) 建物概要

建物基件	木造
建物構造	1階建ての1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)		34,500 円	その他の紅	圣費(月額)	・光熱水費―600円/1日 ・寝具―50円/1日 ・日用品―70円/1日 ・理美容代、おむつ代―実費
敷 金	有(10	00,000円)			
保証金の有無 (入居一時金含む)	無		有りの場 償却の有		_
食材料費	朝食	250	円	昼食	450 円
	夕食	350	円	おやつ	150 円
	または1	日当たり		円	

(4) 利用者の概要(平成20年3月11日現在)

利用者人数	3 名	男性	1名	女性 2名	
要介護1		名	要介護 2	名	
要介護3		2名	要介護 4	1 名	
要介護 5		名	要支援 2	名	
年齢 平均	72.3 歳	最低	59 歳	最高 80 歳	

(5) 協力医療機関

|--|

作成日 平成20年4月28日 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当ホームは温泉地である旧喜連川町の街中で市役所支所に近く、商店が立ち並ぶ目抜き通りに位置しており、食材の買い物に出かけるスーパーなども歩いて行ける距離にある。建物内部は古民家風の造りになっており、共用空間が広く、畳スペース、ソファー、ウッドデッキなど思い思いの場所で過ごせるようになっている。小規模多機能型居宅介護事業所との合築で職員も兼務していることから、将来的には馴染みの空間、職員との関係の中で住まいを移すということも想定される。職員は明るく、柔軟な支援に努めている。日向ぼっこをしている入居者の肩を揉んでいる、他の入居者の姿も見られ、ゆったりとした時間の流れるホームである。

【重点項目への取組状況】

前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)

今回が始めての自己評価・外部評価の機会である。

今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)

今回の自己評価は、管理者が行なったが、月1回の職員会議(兼勉強会)で外部評価について何回かにわたって取り上げ、また平成20年度の研修計画を作成するにあたって、評価項目を参考にしたりしている。

運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)

直治会代表(2名)、民生委員、利用者家族代表、市、地域包括支援センターの項職員に参加してもらい併設(合築)の小規模多機能事業所と合同での開催をしている。現在のところ1回の開催であるが、地域の回覧の利用や行政区、民生委員の定例会議の場の利用など事業所の周知についての助言など、積極的な意見が出されている。

|家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)

重点項目 家族の来訪時に報告をしたり、電話で連絡を取ったりしている。写真などはその都度家族に差し上げている。自身で金銭管理をしている入居者もいるが、預かり金管理はしていない。今までのところ職員の異動や離職はない。重要事項説明書にホーム、市、国保連、法人の第三者委員の連絡先など、苦情相談の窓口を明記している。意見箱も置いている。家族から意見や要望が出たときはその都度検討・対応している。家族の意見で食事作りの際に頭覆いを着けるようになった例がある。

日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)

重

自治会に加入し、地域の行事に参加したり、自治会や民生委員の会議などで話をしたりしている。日常の散歩や買い物、朝の掃除の際の挨拶などを通して近隣の方との関係を徐々につくっている。

2. 評価結果 (詳細)

外部評価	評	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印(取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
		理念に基づく運営			
1	. 坦	念と共有		Ī	
1	1	○地域密着型サービスとしての理念地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業	20年以上前からの法人の理念には今日の地域密着型サービスに通ずる思いが謳われており、ホームの理念ともしている。パンフレットにはホームとして大切にすることを明記している。	0	今後、職員で意見を出し合いながらホーム独 自の理念の検討をしていくことも考えている。 職員間の意識あわせという意味でも、その取り 組みに期待したい。
		所独自の理念をつくりあげている			AEOという
		○理念の共有と日々の取り組み	新任の職員には、まず理念 (現在は法人理念) の言葉を理解させるようにし、日々の実践の中で 体験的に理念を浸透させることを大切にしてい		
2	2	管理者と職員は、理念を共有し、理念 の実践に向けて日々取り組んでいる	る。職員は、理念のキーワードである「出逢いを 大切にし、人を愛する」「今日の一日を、楽しく 生きる」を自分の言葉で述べることができる。		
2	地	域との支えあい			
3	5	として、目冶会、老人会、行事等、地域	自治会に加入し、福祉まつり等地域の行事に参加したり、自治会や民生委員の会議などで話をしたりして地域との交流に努めている。日常の散歩や買い物、朝の庭の掃除の際の挨拶などを通して近隣の方との関係を徐々につくっている。		ホームは市役所支所の近く、商店の立ち並ぶ 街の目抜き通りに位置している。また、運営推 進会議では地域の代表者や民生委員から積極的 な助言もある。通りから見える位置に掲示板を 作ることも考えている。街の人に気軽に立ち 寄ってもらえるようなホームづくりを目指して いくことに期待したい。
3	. 理	念を実践するための制度の理解と活用			
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及 び外部評価を実施する意義を理解し、評 価を活かして具体的な改善に取り組んで いる	今回が始めての自己評価・外部評価の機会である。月1回の職員会議(兼勉強会)で外部評価について何回かにわたって取り上げ、また平成20年度の研修計画を作成するにあたって、評価項目を参考にするなど評価の機会を活かしている。	0	今回の自己評価は、管理者が行なった。次回 以降、評価の過程において多くの職員が関わる ことでホームの現状認識や課題の共有など、評 価の機会を更に活かしていくことに期待した い。

城下庵

799	しい	电			
外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービス の実際、評価への取り組み状況等につい て報告や話し合いを行い、そこでの意見 をサービス向上に活かしている	自治会代表(2名)、民生委員、利用者家族代表、市、地域包括支援センターの職員に参加してもらい併設(合築)の小規模多機能事業所と合同での開催をしている。現在のところ1回開催している。地域の回覧や行政区、民生委員の定例会の場の利用による事業所の周知についての助言があったりと積極的な意見が出されている。今後は認知症診療に習熟した地域の認知症サポート医が参加する予定もある。	0	地域での応援団を増やしていくという意味でも、委員の協力的な姿勢を運営により活かしていくという意味でも、会議の定期的な開催をしていくことにも期待したい。
6			運営推進会議に、市の所管部署の課長の参加がある他に、月に1~2回は市役所に出向いて報告や意見交換をしたり、電話で相談したりしている。市役所支所が事業所から至近の距離にある。	0	地域密着型サービスとして、地域の認知症ケアを市と一緒になって進めていくという意味でも、今後もホームの現状を伝えたりしながら、市との協力関係を深めていくことに期待したい。
4	. 理	念を実践するための体制			
7		○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康 状態、金銭管理、職員の異動等につい て、家族等に定期的及び個々にあわせた 報告をしている	家族の来訪時に報告をしたり、電話で連絡を 取ったりしている。写真などはその都度家族に差 し上げている。自身で金銭管理をしている入居者 もいるが、預かり金管理はしていない。今までの ところ職員の異動や離職はない。	0	今後、入居者が増えていく中で、お便りや ホームの広報紙など定期的なお知らせの手段な ども検討していくことに期待したい。
8		○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や 職員ならびに外部者へ表せる機会を設 け、それらを運営に反映させている	重要事項説明書にホーム、市、国保連、法人の第三者委員の連絡先など、苦情相談の窓口を明記している。意見箱も置いている。家族から意見や要望が出たときはその都度検討・対応している。家族の意見で食事作りの際に頭覆いを着けるようになった例がある。		
9		○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や 職員による支援を受けられるように、異 動や離職を必要最小限に抑える努力を し、代わる場合は、利用者へのダメージ を防ぐ配慮をしている	今までのところ異動や離職による職員の変更はない。馴染みの関係づくりを大切にしながら、馴れ合いにならないように注意している。		

	城下庵						
外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)		
5	5. 人	・ ・材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	月1回の職員会議の際にその時々に合った勉強会を行っている。研修は事業計画で新人、新任、現任と段階的に力をつけていけるよう考慮していて、平成20年度からは自己評価項目を参考にしながら立てた計画に基づいて研修を実施していくことにしている。研修計画には0JTも位置づけられており、研修効果の測定もする仕組みになっている。	0	職員のモチベーションの維持・向上という意味でも、認知症介護実践研修など外部研修の場も更に積極的に活かしていくことにも期待したい。		
11	20	者と交流する機会を持ち、ネットワーク	県のグループホーム協会や老人福祉施設協議会などの関係団体に加入している。開設に当たっては職員を他のホームに夜勤も含めた実習に行かせたりもしている。管理者は必要に応じて、市内の同業者と連絡をとっている。				
	_	で心と信頼に向けた関係づくりと支援 B談から利用に至るまでの関係づくりとそのタ	才応				
12		○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービス を利用するために、サービスをいきなり 開始するのではなく、職員や他の利用 者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家 族等と相談しながら工夫している	入居に至るまでに職員が訪問したり、ホームに 来てもらって雰囲気を見てもらうようにしてい る。また、今までの生活になるべく近づくような 支援に配慮し、他の入居者などとの関係をつなぐ など自分の居場所づくりにも配慮し、ホームでの 生活に徐々になじめるように支援している。				
2	2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援						
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場 におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽 を共にし、本人から学んだり、支えあう 関係を築いている	本人のできることに配慮しながら、食事づくり、後片付け、掃除、花の世話など一緒に行っている。調理や畑のことなど入居者から教わることも多い。				

坊	防	奄				
外部評価	自己評価		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
1	Π.	その人らしい暮らしを続けるためのケアマ	? ネジメント			
1	. –	-人ひとりの把握				
		○思いや意向の把握	本人の言葉から希望や意向の把握に努めてい		今後、より深く本人を知るために職員の力を	
14	33	一人ひとりの思いや暮らし方の希望、 意向の把握に努めている。困難な場合 は、本人本位に検討している	る。困難な場合は日々の言動や生活歴などからその人らしい生活が送れるような支援を検討している。	0	合わせながらセンター方式のアセスメントを取り入れることなども検討しているので、家族の参加なども検討しながら更なる充実を期待したい。	
2	2. 本	ス人がより良く暮らし続けるための介護計画の	り作成と見直し			
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	人居前の面接に時間をかけて情報収集に努め、 申し送りや個人記録などで日々の変化に対応しながら、計画作成担当者、職員、看護師などでカンファレンスを行い計画の作成・見直しをしている。			
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行う とともに、見直し以前に対応できない変 化が生じた場合は、本人、家族、必要な 関係者と話し合い、現状に即した新たな 計画を作成している	毎月モニタリングをしながら、6か月を目安に 見直しをし、状態の変化などがあったときには随 時見直しをしている。今後3か月ごとに見直しを することも考えている。			
3	3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39		ホームとしては医療連携体制加算はとっていないが、小規模多機能型居宅介護事業所との合築であることを活かし、小規模多機能型居宅介護事業所の看護師の協力も得ながら医療的配慮の必要な方への支援も行っている。外出の機会づくりなど、柔軟な支援に努めている。			

<u></u>	<u> </u>	奄			
外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4	. 本	:人がより良く暮らし続けるための地域資源と	:の協働		
		○かかりつけ医の受診支援	家族の協力を得ながら、入居前からのそれぞれ		
18	43	本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	のかかりつけ医での受診を支援している。サマリーの提供など、必要に応じて家族を通して医師との連携を図りながら適切な医療が受けられるよう配慮している。		
		○重度化や終末期に向けた方針の共有	本人、家族の意向を確認しており、あくまで意向に沿い、初期、重度化、終末と段階をおったで		
19		いて、できるだけ早い段階から本人や家 族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し	きる限りの支援をしていきたいと考えている。今後、職員研修などでも終末期のケアなどについて学習する機会を作っていく予定である。小規模多機能事業所の浴室には最新の浴槽があり、介護の度合いが高くなっても入浴の支援がしやすいような環境もある。	0	職員間で研修、話し合いを繰り返しながら、 職員間の意識あわせや必要な資源、関係者の検 討などを進めていくことに期待したい。
Г	٧. ⁻	その人らしい暮らしを続けるための日々の)支援		
1	. そ	の人らしい暮らしの支援			
(1)-	-人ひとりの尊重			
		○プライバシーの確保の徹底	例えばトイレへの誘導の場面など、声かけの仕 方に注意しながら誇りやプライバシーに配慮した		
20			支援に努めている。また申し送り等で日々の関わり方を確認し、職員の意識の均一に努めている。 個人記録は事務室に保管し、生活スペースにファイルを置く場合も外から見えにくいような置き方 に配慮している。		
		○日々のその人らしい暮らし			
21	52	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、 希望にそって支援している	一日の予定を細かく決めずに散歩や買い物、ドライブや外出など一人ひとりのペースで生活できるよう配慮しながら支援している。		

城下庵 自 ○卸 部 己 評 取り組みの事実 取り組みを期待したい内容 項 (取り組みを期 (実施している内容・実施していない内容) (すでに取組んでいることも含む) 待したい項目) 価 価 (2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 ○食事を楽しむことのできる支援 以前は近距離に位置する同法人の特別養護老人 ホームからおかずを運ぶ体制にしていたが、職員 22 54 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用 で話し合い、3月からホームで調理をするように なった。職員も入居者と一緒に食卓を囲み、会話 者と職員が一緒に準備や食事、片付けを を楽しみながら同じものを食していた。 している ○入浴を楽しむことができる支援 入浴時間は特に定めず、毎日入浴する方もいる など柔軟な支援に努めている。近くに温泉があ 曜日や時間帯を職員の都合で決めてし り、足湯に出かけたりもしている。小規模多機能 23 | 57 | まわずに、一人ひとりの希望やタイミン 事業所には最新の浴槽があり、介護度が高くなっ |グに合わせて、入浴を楽しめるように支 | ても家庭的な浴槽で入浴を楽しめる設備的配慮も 援している (3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 介護計画作成において、よりその人らしさを ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 編み物や花の世話、畑、食事の場面、外出な 追求していくことを考えている。法人理念「今 ど、本人の趣味や得意なこと、好きなことを日常 生活の中に取り入れながらの支援に努めている。 日一日を楽しく生きる」を大切にしてることか ら、今後も一人ひとりについて、習慣、希望、 法人役員によるネイルケアなどの装いの支援も気 有する力を踏まえて何がその人の役割、楽しみ した役割、楽しみごと、気晴らしの支援構らしや生活の張りにつながっている。 ごとになり得るかを把握しての支援を充実させ をしている ていくことに期待したい。 ○日常的な外出支援 散歩や近所のスーパーへの買い物、ドライブ、 花見などの行事的な外出など戸外に出る機会をつ 25 61 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひ くっている。リビング続きでウッドデッキがあ とりのその日の希望にそって、戸外に出り、外気に触れながら食事をしたりお茶を飲んだ りできる環境もある。 かけられるよう支援している (4)安心と安全を支える支援 ○鍵をかけないケアの実践 法人の方針として鍵をかけず開放感のある暮ら

社会福祉法人栃木県社会福祉協議会

運営者及び全ての職員が、居室や日中しの支援を徹底しており、当ホームにおいても職

26 | 66 | 玄関に鍵をかけることの弊害を理解して | 員の見守りのもと、日中は鍵をかけないケアを実

おり、鍵をかけないケアに取り組んでい」践している。

城下庵

珋	下層	E			
外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜 を問わず利用者が避難できる方法を身に つけ、日ごろより地域の人々の協力を得 られるよう働きかけている	年2回避難訓練を実施しており、さらに今後毎 月実施していくことも考えている。運営推進会議 で地域の方々の協力についてもお願いをしてい る。事業所として3日分の水、食糧などの備蓄を している。	O	今後、更に訓練の頻度を増やすことも考えていることから、例えば訓練の際に近所の方や地域の方に参加を呼びかけていくことなどにも期待したい。
((5) र	その人らしい暮らしを続けるための健康面のヨ	支援 アルファイン ファイン ファイン ファイン ファイン アイス		
28		日を囲しく帷除できるよう、一人ひとり	3月から事業所で食事づくりをしている。同法人の栄養士にも相談しながら利用者の好み、持病なども考慮して職員が2週間ずつ献立をたてている。食事、水分の摂取量に注意しながら、適切な栄養・水分の確保ができるよう支援している。		
	_	の人らしい暮らしを支える生活環境づくり 骨心地のよい環境づくり			
29	81	所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者 にとって不快な音や光がないように配慮 し、生活感や季節感を採り入れて、居心	建物内部は古民家風の造りになっており、全体として落ち着いた印象がある。共用部分が広く、リビング兼ダイニングの他に畳スペース、ソファーなど思い思いの場所で過ごせる環境をつくっている。室内には季節の花々を飾り、新聞や雑誌などを置いたりしている。音や光なども適切に配慮され、室内に空気のよどみ等もなかった。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や 家族と相談しながら、使い慣れたものや 好みのものを活かして、本人が居心地よ く過ごせるような工夫をしている	持ち込むものなどは個人によって差があるが、 家具等の持ち込みを勧め、その人らしい居室環境 づくりに努めている。		

[※] は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票(様式1)を添付すること。